

## IHI、オゾン脱臭装置「エアクリアOS—21」(あの商品は今)

2011/03/01 日経産業新聞 7ページ 596文字

仕様変えずホテルで活躍

(1996年発売)

IHIが1996年から販売するオゾン薫蒸型脱臭装置「エアクリアOS—21」は、ホテルやカラオケボックスの室内にたまった悪臭を取り除く装置だ。市場投入から15年がたつが、ほとんどモデルチェンジもせずに業界の定番商品に育った。

開発のきっかけは小型で強力な脱臭装置への需要の高まりだ。同社製も含め当時のオゾンを使った脱臭装置は重さ30キログラムを超え、女性に多い清掃職員にとって大きな負担となっていた。IHIは機器内部の設計構造を工夫することでこうした問題を解決。重さを14.5キログラムに抑えたほか、高さも1メートルから45センチメートルへと縮め、部屋から部屋への移動や狭い場所への持ち込み作業を楽にした。

オゾンが持つ高い反応特性を利用して脱臭する仕組みだ。装置から発生したオゾンを室内に充満させ、においの基になる物質と反応させて悪臭を絶つ。例えば、たばこのにおい消しに他社製品が1時間かかるところを、エアクリアOS—21を使えば30分で済むという。

現在もホテルや食品施設、工場などを対象に年130台のペースで売れている。使い勝手の良さから「デザインや仕様を変えないでほしい」という要望が多い。このためスイッチの配列や耐久性能を見直した程度で、大きな仕様変更はしていない。オープン価格で、主な納入先はホテル。納入実績は業界1位だという。(中西豊紀)

---

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

●[ご提供する情報について](#) ●[個人情報](#)の取扱いについて ●[日本経済新聞デジタルメディア宛のお問い合わせフォーム](#)へ

Copyrights © 2011 日本経済新聞デジタルメディア Nikkei Digital Media, Inc. All Rights Reserved.